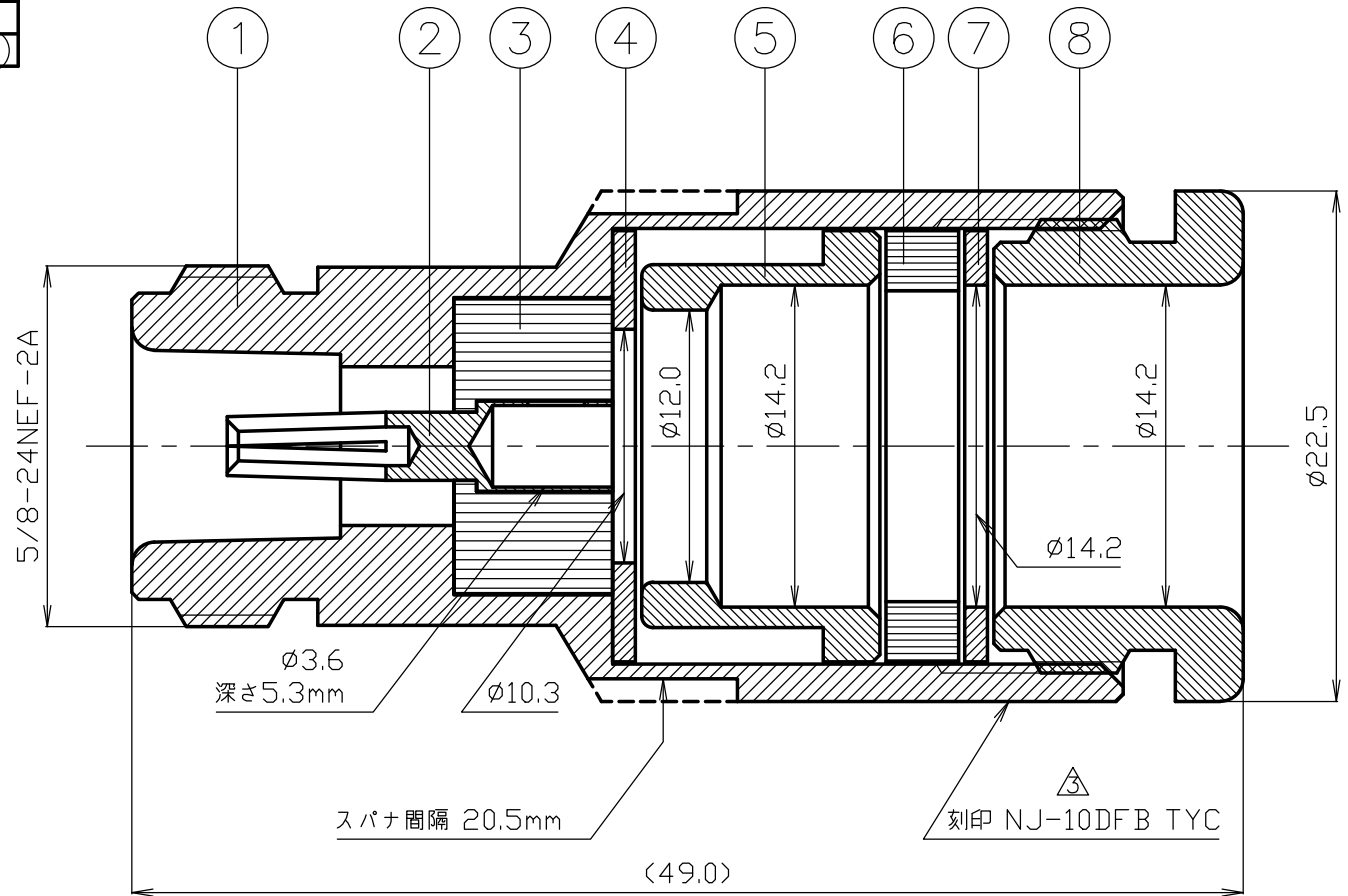
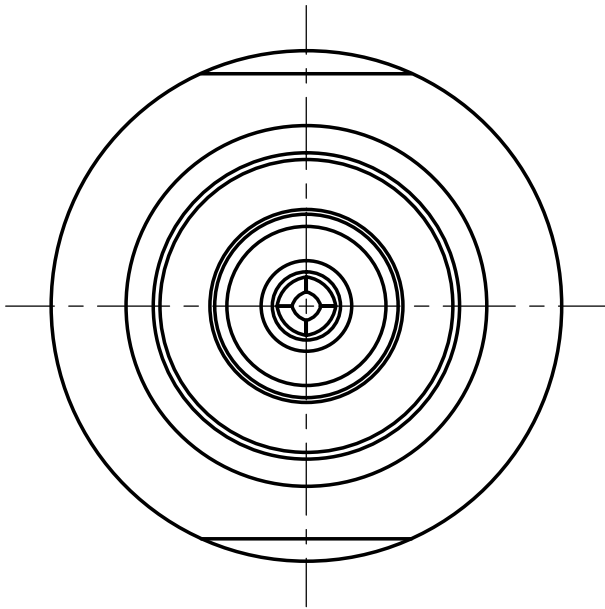
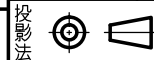


番号	変更・記事	日付	確認
△1	Sn → NI	96.10.08	済
△2	AG → NI	2001.05.16	済
△3	刻印 NJ-10DFB → NJ-10DFB TYC	2003.04.09	済
△4	社名変更	2012.01.05	済



8	締付金具	黄銅	1	NI	△	尺度 3/1	製図	検図	承認	確認	品名 NJ-10DFB
7	ワッシャー	黄銅	1	NI	△		山	檜	山	中村	
6	ガスケット	シリコンゴム	1	-	-		'12.01.05 口	'12.01.05 澤	'12.01.05 本	'12.01.05 義	
5	クランプ	黄銅	1	NI	△		山 檜 山 中村				図番 S-0520142-01
4	ブッシング	黄銅	1	NI	△						
3	絶縁体	テフロン	1	-	-	単位 mm	山 檜 山 中村				
2	中心コンタクト	リン青銅	1	AU	-						
1	シエル	黄銅	1	NI	△	日付 '92.07.24	山 檜 山 中村				
番号	部品名	材質	数量	処理	備考						



仕 様 書

品 名 NJ-10DFB

No. 0520103

図 番 S-0520142-01

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411
2 定格電圧 AC 500V
3 定格周波数 10 GHz
4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格
1	構造形状	構造及び形状寸法	異常のないこと
2		材 質	
3		仕上げ及び表示	
4	電 気 的 特 性	絶縁抵抗	DC 500V 1000MΩ 以上
5		耐電圧	AC 1000V 1 分間 異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて 3mΩ 以下
7			
8			
9	機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
10		ケーブル接続強度	軸方向引張力 392N以上 異常のないこと
11		抜け止めのあるコンタクトの固定力	中心コンタクトに軸方向引張力4.9N以上 異常のないこと
12		結合部接続強度	軸方向引張力 約294Nを加えたとき 接続ナットに 異常のないこと
13		雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ0.98N以上 異常のないこと
		繰り返し動作	5000回の抜き差し後 接触抵抗は10mΩ 以下

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

NJ-10DFB 取付仕様書

適合ケーブル 10D-FB △

部品構成

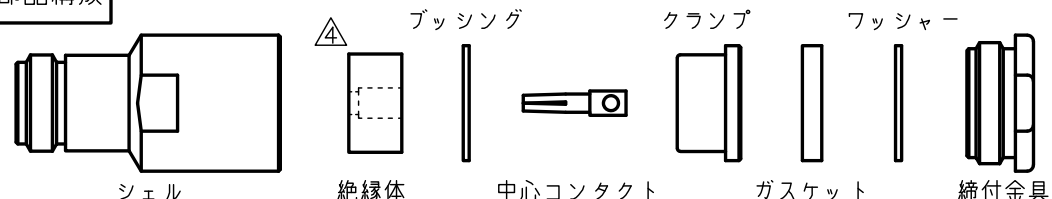
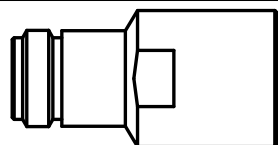


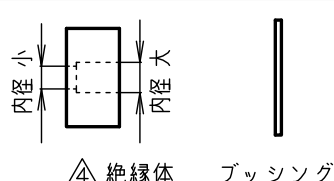
図 番
S-0520142-01



製 図	検 図	承 認	確 認
渡邊 '20,01,22 直弘	檜 '20,01,22 澤	山 '20,01,22 本	三 '20,01,22 村



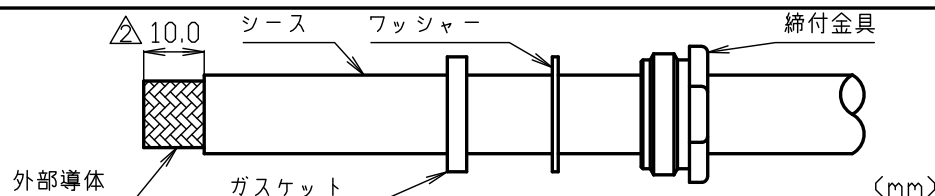
シェル



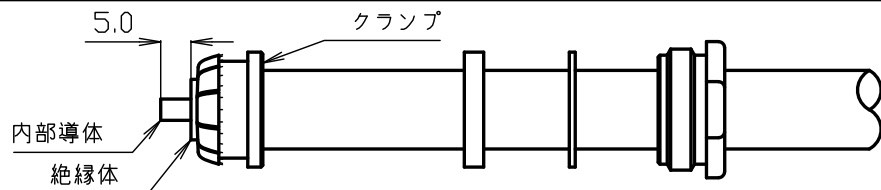
△ 絶縁体 ブッシング

△	絶縁体 部品図変更	2020.01.22	(山本)	番号	変更・記事	日付	確認
				△	社名変更	2012.01.05	(山本)
				△	11.0 → 10.0 寸法変更	2012.12.21	(山本)
				△	適合ケーブル 追記	2012.12.21	(山本)

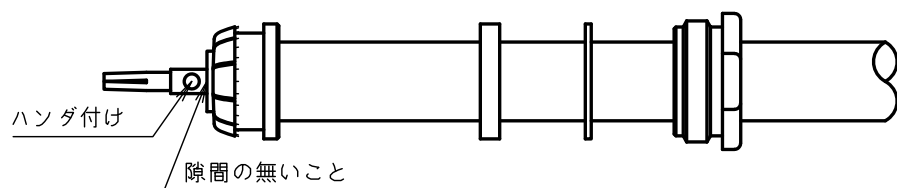
① シェルの中に、絶縁体、ブッシングの順に装着する。



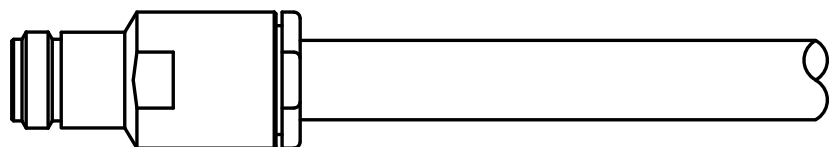
② 同軸ケーブルへ締付金具、フッシャー、ガスケットの順に通し、シースを図中の寸法で切りとる。



③ クランプを装着した後、外部導体をほぐし折り返して切りそろえ、アルミ箔はたんざく状に切り、折り返し切りそろえて、絶縁体を図中の寸法で切取る。



④ 内部導体に中心コンタクトを装着し、ハンダ付けする。このとき半田が盛り上がらないこと。
ハンダ付けの後、中心コンタクトを軽く引張り抜けない事を確認する
注意： 中心コンタクトとケーブル絶縁体の間に隙間が無い事
また、熱によりケーブル絶縁体に変形しない事



⑤ シェルを装着し、締付金具をスパナ等で締め付けて作業を完了する。